



応急救護訓練をする浅草地区の皆さん

浅草地区住民による自主防災訓練（心和会主催）が12月4日、浅草多目的集会所で実施されました。

地域住民と消防団員ら約70人が参加。市消防署東出張所職員が指導に当たり、火事や地震を想定した通報訓練や煙体験訓練、応急救護訓練、AED（自動体外式除細動器）を使った心肺蘇生訓練、初期消火訓練などで防災知識を深

体験訓練で防災力を高める

東和浅草地区で自主防災訓練

めました。

煙体験訓練では、特設テント内に煙を吹き、その中を参加者が歩いて火災時の煙の怖さを体験。最後には、炊き出し訓練を兼ねて豚汁を作り、参加者全員で昼食をとりました。

参加者は「煙体験など普段経験できない訓練や応急手当の仕方を学べてよかった」と感想を話しました。

温かい光に包まれる商店街

迫大網地区でイルミネーション



多くの家族連れなどが光の世界を堪能

「おおあみイルミネーションロードまつり」（大網商工振興会主催）が12月10日から始まりました。

初日の午後5時から迫町佐沼大網の石倉倉庫前で点灯式が行われ、街路樹や倉庫の壁

面などに取り付けられた約5万個の電球に明かりが灯ると、幻想的な光の世界が映し出され、多くの家族連れなどがイルミネーションを楽しみました。

この祭りは、大網商工振興会が地域の活性化を目的に開催し、今年で3回目。点灯式が行われた10日と17日、23日には、地域住民によるイベントが開催され、踊りやカラオケ、和太鼓など30を超える演目で盛り上げました。

祭りは、1月7日までで、イルミネーションは午後4時から10時まで点灯されます。

歴史ある町並みを駆け抜ける

登米でカップハーフマラソン大会



小学生各学年・男女・2部の部が一斉にスタート

第20回記念カップハーフマラソン（カップハーフマラソン実行委員会主催）が11月27日、登米総合体育館前を主会場に開催されました。



会場では120個のカップケーキ作り挑戦

別の24種目に約1,700人のランナーが参加。選手たちは沿道からの声援を受けながら、精一杯走り抜きました。

会場では毎年恒例のカップケーキ作りも実施され、これまでで最長の120個のカップケーキができました。

また、当日は同会場で「とよま産業まつり」（同まつり実行委員会主催）も開催され、とよま産の牛肉と豚肉の試食や地場産品の販売コーナーなども設けられました。

走り終わった選手は試食コーナーで、焼きたての牛ステーキなどをおいしそうに食べていました。

登米市のできごと
おしらせします！

TOPICS

市民の手作りコンサート トで美しい歌声と演奏

市内各地で音楽祭

音楽祭やコンサートなどの催しが11月から12月にかけて市内各地で開催されました。

中田町では、第14回なかだ音楽祭（同音楽祭実行委員会主催）が11月27日、中田農村環境改善センターで開催されました。



息の合った演奏を披露（米岡・石越小ジョイントコンサート）

体が出演し、約650人の観客が集まりました。

仙台フィルハーモニー管弦楽団で活躍中のフルート奏者 芦澤暁男氏ら3人がゲスト参加。優雅な三重奏は会場を大いに盛り上げました。

12月3日には、米岡小学校金管バンド部と石越小学校吹



観客も一緒に大合唱（「水の里」合唱フェスティバル）

奏楽部のジョイントコンサート（両校部員総勢95人）が登米祝祭劇場で開催されました。

このコンサートは、今年で11回目の開催となるもので、両校の担当教諭の発案で、子どもたちが音楽を通じて交流を深めることを目的に毎年開催されてきました。

始めに米岡小、石越小が順に演奏、その後両校の合同演奏でマーチ「春風」と「上を向いて歩こう」の2曲を披露。息の合った演奏で観客を魅了しました。アンコールに「上を向いて歩こう」で感動のラストを飾りました。

演奏後は、児童たちから先生方へ花束がプレゼントされ、



市内のアマチュアバンドが多数出演（第14回なかだ音楽祭）

観客からも温かい拍手が送られました。

12月11日には、第11回とめ「水の里」合唱フェスティバル（同フェスティバル実行委員会）が登米祝祭劇場で開催されました。

市内12のコーラス団体と佐沼高等学校合唱部の皆さんが、日ごろの練習成果を披露。各団体の素晴らしい歌声に、大きな拍手と声援が寄せられました。

演奏の最後は、「水の里」を出演者と観客全員の大合唱で締めくくりました。

各会場で行われた音楽の催しでは、素晴らしい歌声や演奏が響き渡りました。



中田幼稚園の合唱（第14回なかだ音楽祭）